

実質単年度収支の推移

実質単年度収支は、単年度収支から実質的な黒字要素(財政調整基金積立金、地方債繰上償還額)や赤字要素(財政調整基金取崩額)を加減したもので、当該年度における実質的な収支を把握するための指標です。

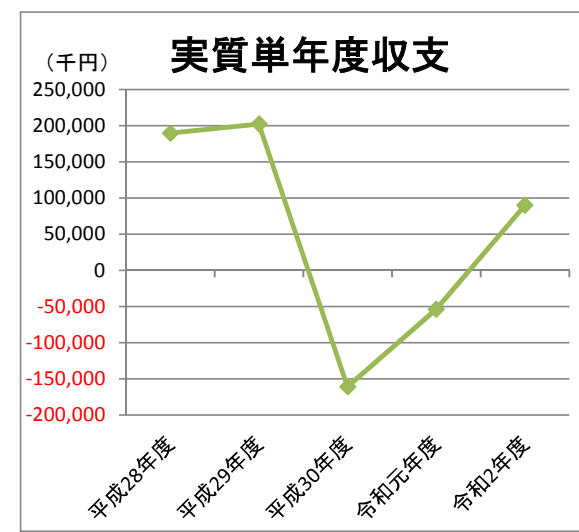
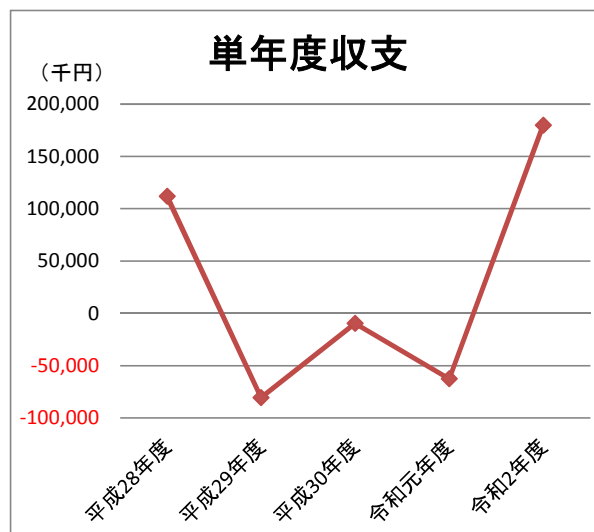
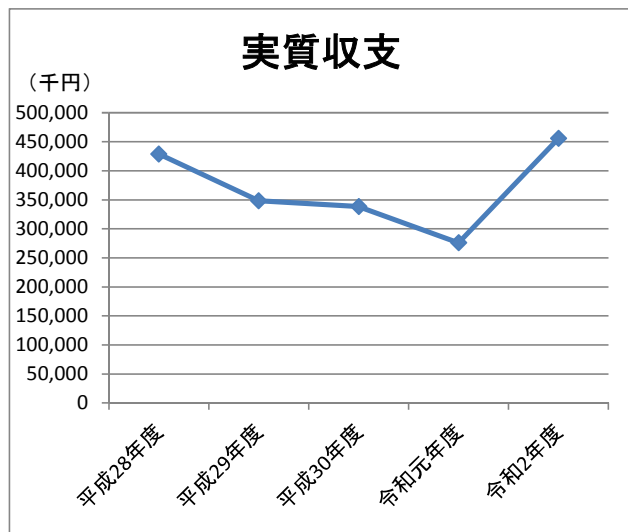
(単位:千円)

年度	歳入決算額(A)	歳出決算額(B)	歳入歳出差引額(A)-(B)(C)	翌年度に繰り越すべき財源(D)	実質収支(E)(C)-(D)	単年度収支(F)	積立金(G)	繰上償還金(H)	積立金取崩額(I)	実質単年度収支(J)(F)+(G)+(H)-(I)
令和2年度	18,531,057	17,889,613	641,444	185,724	455,720	179,876	156,657	0	246,524	90,009
令和元年度	14,747,904	14,329,262	418,642	142,798	275,844	△ 62,639	328,390	0	319,509	△ 53,758
平成30年度	15,728,098	15,296,206	431,892	93,409	338,483	△ 9,688	278,362	0	429,562	△ 160,888
平成29年度	14,998,670	14,546,287	452,383	104,212	348,171	△ 80,625	282,916	0	0	202,291
平成28年度	14,143,797	13,565,008	578,789	149,993	428,796	111,767	251,633	0	173,534	189,866

令和2年度は、歳入は、法人市民税や普通交付税、新型コロナウイルス感染症対策事業に係る国庫支出金の増により前年度に比べ25.7%の増となりました。歳出は、特別定額給付金給付事業費やチームにらさきエール商品券事業費等の増により前年度に比べ24.8%増となりました。

実質単年度収支は、財政調整基金取崩額が積立額を上回ったものの、公営企業会計補助金の額を抑えることができたことにより、実質収支が増となり、単年度収支が黒字化したため、3期ぶりの黒字となりました。

今後も、収入確保や各種事業、公共施設のあり方等の見直しを進め、尚一層健全な財政運営に努めていきます。



- 【参考】 実質収支 = 歳入歳出差引額 - 翌年度に繰り越すべき財源
 単年度収支 = 当年度実質収支 - 前年度実質収支
 実質単年度収支 = 単年度収支 + 積立金(財政調整基金) + 繰上償還額 - 基金取崩額(財政調整基金)